

## 50. 肺炎治療を契機に発見された小型細気管支肺胞上皮肺癌の1例(第138回日本肺癌学会関東支部会)

著者	小貫 琢哉, 伊藤 博道, 酒井 光昭, 石川 成美, 山本 達生, 鬼塚 正孝, 榊原 謙, 森下 由紀雄, 飯島 達生, 野口 雅之, 南 優子
雑誌名	肺癌
巻	44
号	2
ページ	129
発行年	2004-04-20
権利	日本肺癌学会
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2241/00134977">http://hdl.handle.net/2241/00134977</a>

50. 肺炎治療を契機に発見された小型細気管支肺胞上皮肺癌の1例

筑波大学附属病院呼吸器外科

小貝琢哉, 伊藤博道, 酒井光昭  
筑波大学臨床医学系外科 石川成美

山本達生, 鬼塚正孝, 榎原 謙  
同 基礎医学系病理

森下由紀雄, 飯島達生, 野口雅之  
筑波大学大学院医学研究科 南 優子

喫煙歴のある56歳女性。平成14年12月、肺炎で近医入院。胸部CT上、両側陰影を確認。今年9月のCT上、右肺S<sup>2</sup>に葉間に接するスリガラス影が残存。器質化肺炎と細気管支肺胞上皮癌(BAC)の鑑別のため手術方針とし、迅速病理診で肺腺癌を確認。右肺上葉切除術(ND2a)施行。永久標本上、直径13mmのBAC(野口Type A)と周囲の複数のAAHを確認。肺炎を契機に発見され、BACと複数のAAHを伴った1例を経験した。